



総文で生徒実行委員長
大塚 俊一さん・17歳
駒形町

高校生と感動を共有する5日間

8月6日から10日まで「上州に舞え創造の風」をテーマに開催される第32回全国高等学校総合文化祭で生徒実行委員長を務める。

2年前、高1の時にこの大会に興味を持ち、生徒実行委員の講習に参加。その後委員の中から委員長に選ばれた。

「実際にやってみると日程が厳しい。また、会議の中で意見が合わなかったり、期限までに決めなくてはいけないことが決められなかったり手探りの状態。みんなの意見をまとめていく難しさも感じました」

最近、リーダーとしてまず自分から行動するように心掛けています。

介するチャンス。

「高校生の部活動としてはあまり知名度の高くない部門も、観客を引きつける大きな魅力を持っていると思います。発表や展示も全国レベルで質の高い物ばかり。ぜひ、会場へ足を運んでください」

本市では県内20会場の中で最も多くの発表会やコンテストが開催。

「高校生の活気や情熱を市民の皆さんに伝えたいですね」

現在高崎高の3年。好きな教科は物理と数学。中学から高1の最初までバスケットボール部に所属していた。趣味は運動をすることという。

開幕まであとわずか。運営のマニュアル作りや広報活動に忙しい毎日が続く。大会を成功させ悔いのない高校生活を送ってほしい。

消火技術を競うポンプ操法大会



7月20日、市消防団の消防ポンプ操法大会が田口町の県消防学校グラウンドで行われました。消防ポンプ車から放水して標的を倒すまでの時間や隊員の節度ある行動などを審査し、順位を決定。8月20日に行われる県大会に向けて各地区から予選を勝ち抜いた20チーム、140人が熱戦を繰り広げ、宮城地区の第17分団3部が優勝しました。

児童館で楽しい夏祭り

大友児童館で7月19日、夏祭りが催されました。今年の目玉はマジックショーやくじ引きなどの模擬店。子どもたちはマジシャンの手さばきに興味津々。その後、お菓子などが当たるくじ引きなども。みんな楽しい夏休みを過ごしていました。



明るい社会をアピール

7月は「社会を明るくする運動」の全国強調月間。12日には七夕でにぎわう中心市街地を約1,000人の参加者がパレード。訪れた人たちにうちわを配りながら、犯罪や非行のない明るい社会づくりを呼び掛けました。



若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★佳作 パソコン

総社小4年
大山 法代さん

パソコンって、すごいよね。計算が、すぐに、できちゃうし、絵も、かけるし、字も、うてる。ゲームだって、できちゃう。でもね……

パソコンってね、ジュースや、ヨーグルト、ちよびつと、こぼした、だけで、すぐに、こわれちゃう。

だから、自分は、強いぞ、すごいぞって、言ってる人は、本当の本当は、弱っちいのかも、しれないね。

★入選 お父さんの決意

福岡県柳川市立中島小5年
稲又 成美さん

四月十四日。お父さんのたん生日。お父さんが、たばこをやめる決意をしました。

一週間後。「ハァー。」と、お父さんのため息が増えました。二週間後。愛犬サリーに八つ当たりするようになりました。

三週間後。ある日とぜん食事のあと、急に立ち上がり、「もうたばこすう。たばこ買ってくる。」と、言って買いに行きました。私は、ある意味「ホッ。」としました。